

アンケート結果を受けて改善したいところ 【教育科学系】

・今回、特に、ということはないが、学生の反応を捉えながら、適宜、柔軟に工夫・対応を検討していきたい。

この授業に関しては否定的な回答がほとんどなかった。問6と問11については数名の学生が③を選んでいるので、今後はこれらの点に注意したい。

「初等情報研究」の授業運営について、改善の余地があると思う。
本授業のみ反転授業を取り入れているが、やや試行錯誤の感があり、達成度などが少し低い。
このまま反転授業を継続するか、一般的なアクティブ・ラーニング型の方法で行うか、迷う。

・学生にとって、分かりやすい教材・教具を、さらに工夫していきたい。
・学生同士で学習内容を深め合う機会を、より多く作れるように意識していきたい。
・学生とのコミュニケーションをとる機会がなかなかもち辛かったので、学生との距離感が狭まるような関係性を作っていきたい。

・授業で新しい考え方や知識・技能が身についたのは94.3%の学生が、学生どうして授業内容を深めあったは91.5%の学生が「そう思う」と回答しており、現在の授業の進め方を継続しつつ、さらに課題の提示方法について創意工夫していきたいと考えます。

自ら課題意識をもって、さらに授業内容を深めたいと思えるような構成にしたい。

学生の自習時間が多く、教員の指示や説明がわかりやすいことは評価できる。ただ、授業の難易度が難しいとする学生が32.6%と多めだったため、次年度は課題内容について精査したい。

時間配分、効率のよい授業運営を心がけたい。

・福祉の授業内容の全体平均よりは高い項目が多かったが、もう少しその日の学習目標をはっきり伝えてもよいかもしれない。
・この授業は2年担当したが、昨年 of 学生の意見を取り入れたので、より内容が充実したと思うが、一部で最新の資料が用意できなかったため、最新の資料を準備できるように心がけたい。

授業の難易度で改善点がある結果となっている。

自由記述欄に、①課題の量が多いこと(それゆえ自主学習のようだというコメントあり)、また、②グループから1人しか評価されないこと、③模範解答を示してほしいこと、などとあった。

①については、課題に不慣れ、あるいは読解に時間が掛かる場合は、負担に感じたかもしれない。しかし、課題に費やした時間は1～2時間という者が最も多く(38.5%)、3時間以上も26.9%である。計画的に課題に取り組んでいればできない量ではない。ただし月曜の1限で、課題に取り組んでいなかった者が、その場で何とかしようとしてもできる量ではないことだけは申し添えておく。

②グループから1人しか評価されないというのは、best mindmapをグループで選出した者しか私が確認しなかったことによるが、その評価はグループ内で互いに評価したものである。それ以外に私が誰かを選出したことはない。評価されないのは、グループのなかで選出されないことによる。

③模範解答を示さず書き写して満足する学生が多い。不足している点、誤っている点は、毎回の確認問題の回答を全員個別に添削していた。意識改善が課題である。

こうした自由記述が現れるのは、私に信頼を持っていないことによるのだろう。「頑張った人が損をするシステムが辛かった」という記述もあった。頑張った人はそうしなかった人よりも多く、または深く学んだのであり、頑張らなかった人は、その分テキストの内容を身に付けることが難しかったであろう。自分の学びを他の人の学びに寄与することが教職の本質の一つである。そのことを伝えられなかったことは、ひとえに私の落ち度である(なおテキストの読解や確認問題、期末の確認テストでは、各自尽力した分の評価は得ているはずである)。ここにお詫びいたします。

・他専攻の学生への幼児教育についての授業であるが、前期にすでにいくつかの講義を受けているので、ある程度の知識をもっていることを前提とした授業を考えていってもよかった。実際の事例を多く紹介し、一歩踏み込んだ専門的な内容も組み込んでいきたい。

・授業の難易度や内容量について適切だと感じる学生が殆どであったことは良かったと思う
・アクティブラーニングとして、学生がより自主的に学習するよう働きかけていきたい

問15の「この授業のための週当たりの学習時間」という点について、各自で学習する時間をもう少し増やすことができればと思います。

(2)に記載した通り、今年度に新規開設した科目だったので、個々の内容を盛り込み過ぎて、当初予定した範囲に至らなかった(不足部分は2年生で自身が担当する科目の中で、補充する)。この点を反省し、新年度は内容と進め方を精査して実施したい。

授業科目によっては、「学習目標が達成できた」が半数に満たないことから、学生の学習意欲を高め、その目標を達成し、有意義だと感じる授業内容を工夫したい。

授業の学習目標を明確に示すようにしたいと思います。また、資料等の工夫は今後も努力していきたいと思います。

まず、専攻科目全体の評価を見て、問1:90.1%、問2:68.8%、問3:57.2%、問4:72.7%、・・・が肯定(強く思う、やや思う)の結果を見て、専攻科目では、学生諸君がかなり授業を肯定的に受講していることが理解できた。おそらく、自分の勤務校ではこれほど高い値はでないと思う。

さらに、自分が担当した結果では、問1:35.7%、問2:31.5%、問3:25.8%、問4:28.6%、・・・が肯定と低調であった。言い訳になるが、正規分布を手本にすると、自分の担当した結果の方がそれに近い。ほぼ、満足している。

授業の中で学生が主体的に考えるような工夫を実施したい。

学生の考えを出す時間が多く取れるように心がけていく。来年度は退職年齢のため残念ながら実施できないが…。

多くの受講生が、新しい考え方や知識・技能が身についたとってくれたようです。多くの受講生がよく取り組んでくれたと思います。現状を理解し将来の姿について構想する力を身につけることは、授業内で完結するものではありませんので、今後の様々な機会のなかで培ってってもらいたいと思います。その導入として基礎となる土台づくりや端緒を開くことができたようですので、概論としての役目は果たせたのかなと思っています。

授業内容においては、難しすぎる、易し過ぎるという評価もなく、ちょうどいいということであった。乳児保育とは、初めての科目のため、今後も学生の興味関心とあわせながら、個々の問題意識や知識、技能を獲得できる内容に努めていきたい。

「学生同士で授業内容を深めあった」という設問については、「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」がいずれも16.7%、「全くそう思わない」が8.3%となっており、約4割の学生が学生同士で授業について深め合ったという実感を持っていないことがわかった。授業で取り扱うテーマごとに学生らに意見を求め、自分の考えを他者に伝えたり、他者の考え方や理解の仕方を知る時間を作ってきたつもりだったが、今後は1回あたりのグループディスカッションの時間を長く設定するなど、さらに工夫をしていきたい。

授業内で学生が予習・復習(振り返り)に役立つテーマなどを提示してみようと思う。

自主学習を促す工夫をしたい。

自分自身の臨床実践を話す時間が多くなってしまい、学生各個人が自分から主体的に調べたり考えたりする時間が少なかったため、そうした時間を設けられるようにしたい。

前述のように講義内容がかなり広範かつ大量であることから、講義で時間をかけて取り上げる部分と、詳細は受講者の自学自習にゆだねる部分とで、メリハリを付ける工夫をしたい。

新しい考え方、多様な考え方ができるようにするという点について、今後の授業の中で深めていけるように、討議、グループワークの時間を増やす予定です。また、学生が調査し、考えをまとめるという形式でのレポート作成を促したいと考えている。その結果、自ら課題に取り組む姿勢を養いたい。

自由記述で頂いた”知識の引出し”に留意して、様々なトピックを心理学的に説明したいです。

週当たりの学習時間が少ない傾向がみられるため、予習復習のテーマを明確にすることや、次の授業回で学生とのやりとりを実施しながら前週の復習を行ってみたい。